



平成27年台風第11号に係る 鳥取県災害警戒連絡会議

【日時】 平成27年7月15日（水）16：00～

【場所】 災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）等

【参加者】 *総合事務所等TV会議での参加者を含む

知事・統轄監・危機管理局・元気づくり総本部・総務部・地域振興部・観光交流局・福祉保健部・生活環境部・商工労働部・農林水産部・県土整備部・企業局・病院局・教育委員会・警察本部・東部振興監・中部総合事務所・西部総合事務所・日野振興センター・鳥取地方気象台

目的

◆台風第11号の鳥取県への接近に伴い、台風に関する情報の共有、市町村・県民への注意喚起及び警戒・即応体制の確保を図る。

次第

◆知事挨拶

1 台風の現況及び今後の予測等

2 市町村・県民への注意喚起

(1)市町村への注意喚起

(2)県民への注意喚起等

3 警戒・即応体制の確保

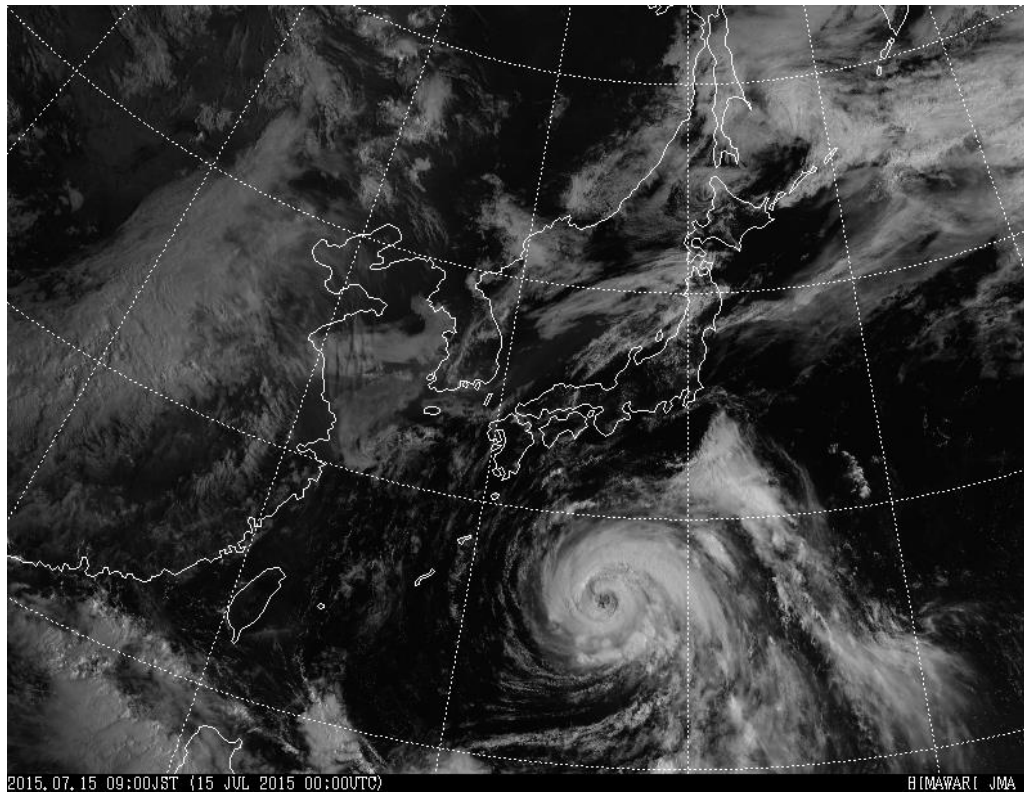
(1)県の体制

(2)各部局等の対応

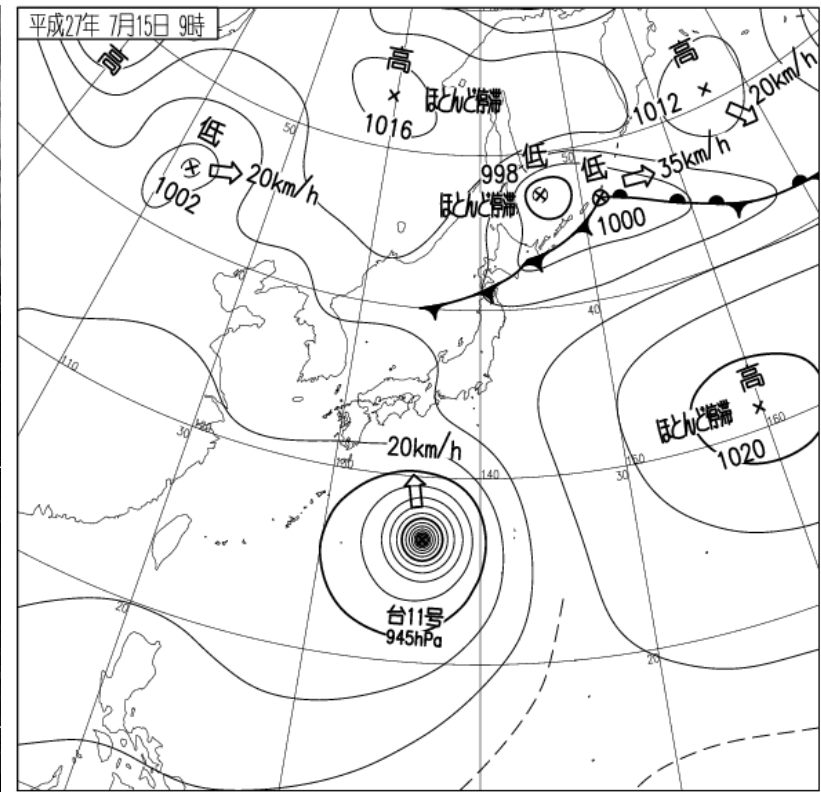
1 台風の現況及び今後の予測等

衛星画像と地上天気図

16日には台風の北側にある雲に覆われ次第に雨となり、
17日から18日にかけて台風が接近し風雨が強まる見込みです。

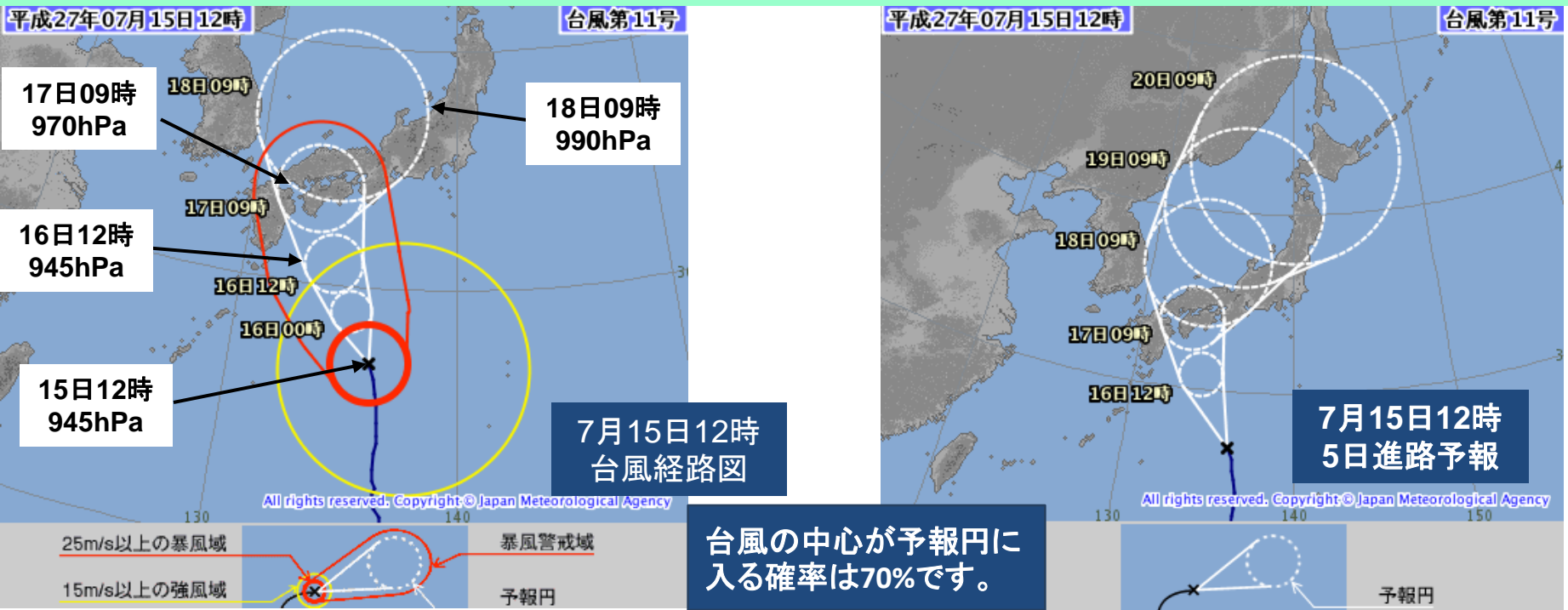


平成27年7月15日09時 可視画像



7月15日9時速報地上天気図

台風予報図 (7月15日12時観測と予想)



台風第11号 (ナンカー)
 <15日12時の実況>
 大きさ 大型
 強さ 非常に強い
 存在地域 日本の南
 中心位置 北緯 27度05分(27.1度)
 東経 136度05分(136.1度)
 進行方向、速さ 北 20km/h(12kt)
 中心気圧 945hPa
 中心付近の最大風速 45m/s(85kt)
 最大瞬間風速 60m/s(120kt)
 25m/s以上の暴風域 全域 170km(90NM)
 15m/s以上の強風域 東側 700km(375NM)
 西側 390km(210NM)

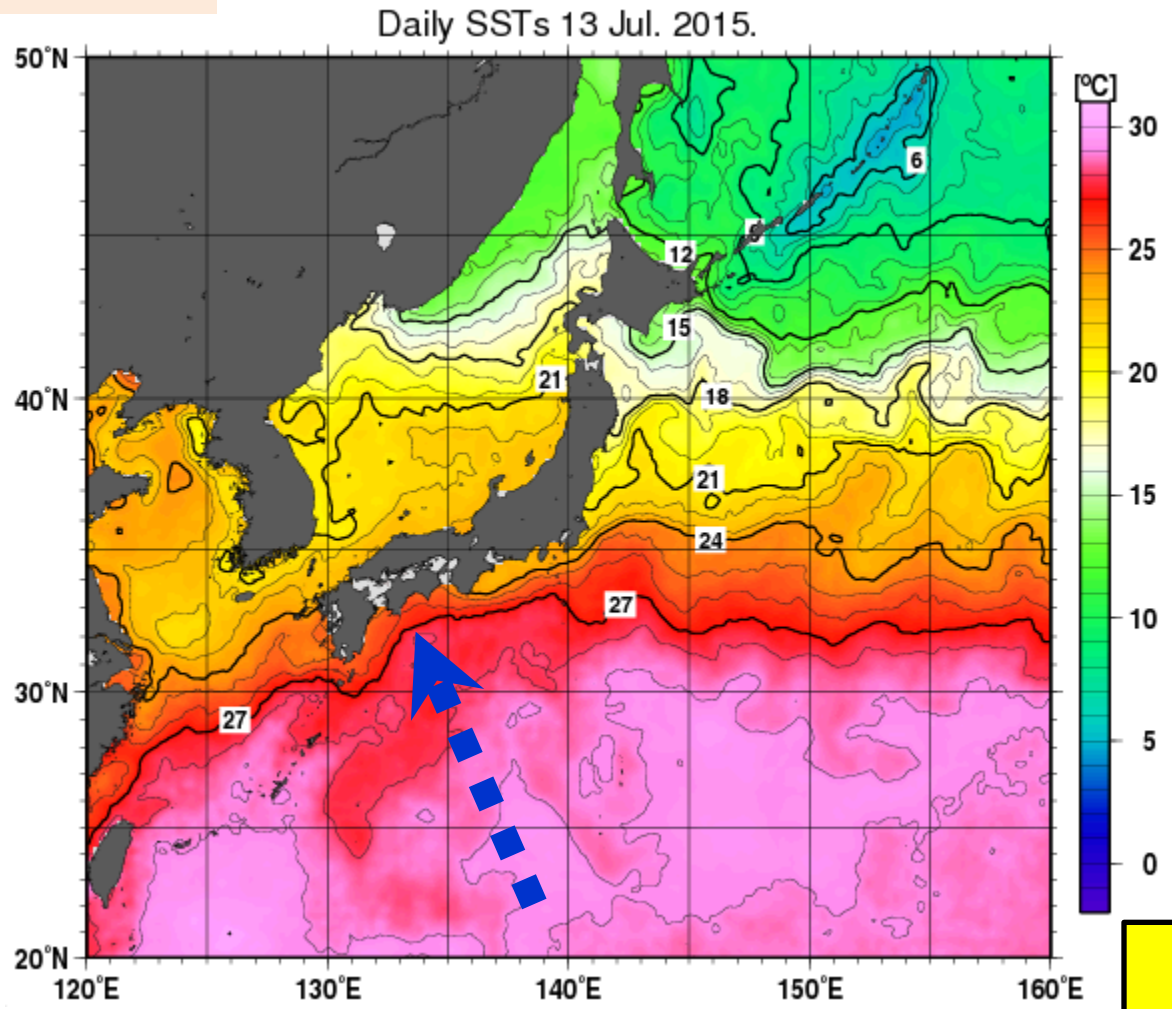
<16日12時の予報>
 強さ 非常に強い
 存在地域 四国沖
 予報円の中心 北緯 30度55分(30.9度)
 東経 134度10分(134.2度)
 進行方向、速さ 北北西 20km/h(10kt)
 中心気圧 945hPa
 中心付近の最大風速 45m/s(85kt)
 最大瞬間風速 60m/s(120kt)
 予報円の半径 130km(70NM)
 暴風警戒域 全域 300km(160NM)

気象台提供資料

直近の台風位置や暴風警戒域等は、
 気象庁HPをご利用下さい
<http://www.jma.go.jp/jp/typh/>
 (トップ画面 台風情報)

日本付近の海面水温

平成27年7月13日



気象台提供資料

大型で非常に強い台風第11号は、海面水温の高い海上を通過する見込みで、西日本に接近するまで勢力が衰えにくい。

今回の台風第11号の影響

- 台風は大型で非常に強い勢力を維持し、日本の南海上を北上しています。16日夜遅くから17日にかけて、西日本に接近・上陸するおそれ。17日から18日にかけて、鳥取県に接近または通過し、風・波が強まり、大荒れの天気になるおそれがあります。
- 台風の接近に伴い、16日から18日にかけて激しい雨の降るおそれがあります。台風の動きは遅く降水が長引く可能性があるため、土砂災害、低地の浸水や河川の増水に注意・警戒が必要です。
- 鳥取県は16日昼前に強風域に入り、17日昼前には暴風域に入る見込みです。最も接近する17日夜。暴風域を抜けるのは、17日夜遅くで18日にかけて強風が続く見込みです。
- 予報円内の東よりを通った場合、非常に激しい雨が長時間降るため、土砂災害、河川の氾濫のおそれが高まります。
- 山地の北東斜面を中心に降水量が多くなる見込みです。台風通過後も、雨が残り、土砂災害への注意警戒期間が長くなります。
- 高潮は、台風の接近時および日本海の北緯40度線付近に台風が進んだ時に高潮になる可能性があります。(18日～19日)

気象台提供資料

台風に伴う防災事項

(7月15日12時の資料基に作成)

7月15日 12時現在の予想

鳥取地方気象台 作成

		7月16日							7月17日		7月18日		
		3	6	9	12	15	18	21	午前	午後	午前	午後	
		未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃					夜遅く
気象的要因													
大雨	土砂災害												
	浸水害												
洪水													
強風(暴風)													
波浪													

<防災事項>

暴風、高波、土砂災害、低地の浸水、河川の増水・氾濫
 降水量が多くなる市町を中心に、土砂災害警戒情報の可能性があります。

気象台提供資料

気象台では、常に最新の資料と実況により適切な防災シナリオを検討しています。今後、最新の台風情報および、気象台が発表する最新の防災気象情報をご利用ください。

: 注意を要する時間帯 : 警戒を要する時間帯

最新の防災情報については、
 鳥取地方気象台(0857-29-1311)へお問い合わせください。

台風第11号と今後の見通し①<参考>

注:15日12時台風進路予想を基にした予想

1) 台風の進路等

大型で非常に強い台風第11号は、15日(水)12時には日本の南の北緯27.1度、東経136.1度にあつて、1時間におよそ20キロの速さで北に進んでいます。台風第11号は、17日夜のはじめ頃に、鳥取県に最も接近する見込みです。このため、17日は、昼頃から非常に強い風が吹き、海上では大しけになるでしょう。暴風、高波に警戒してください。

2) 大雨の時期及びピーク

台風の接近に伴い、16日(木)から雨が降り始め、17日(金)は雷を伴って激しい雨の降るおそれがあります。土砂災害・低い土地の浸水・河川の増水や氾濫に注意・警戒が必要です。

大雨警報は16日(木)夜のはじめ頃、さらに、降水量が多くなる市町を中心に、17日(金)には土砂災害警戒情報を発表する可能性があります。台風が予報円の中心を進む場合、台風本体の雨雲がかかり、また、台風の色度が比較的遅いため、影響が長引く可能性があります、雨量が増える見込みです。雨は、18日(土)には弱まるでしょう。

3) 強風の時期及びピーク

台風の北上、接近に伴って、台風が予報円の中心を進む場合には、鳥取県では17日(金)昼過ぎに暴風域に入る見込みです。このため、17日には暴風警報を発表する可能性が高いと考えられます。19日(土)明け方には強風域から外れる見込みです。

台風第11号と今後の見通し②<参考>

4) 高潮について

7月16日(木)は新月で大潮の時期にあたっている事から、満潮の時間帯を中心に潮位が高くなるおそれがあります。また、台風が北上して北緯40度を超える頃に、潮位が高くなることもあるため、高潮に注意が必要です。

5) 防災事項

台風接近時を中心に、雨・風・波が強まる見込みです。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫、暴風、高波に警戒してください。落雷、突風、高潮にも注意をお願いします。

6) その他

気象台では、常に最新の予想資料と実況により適切な防災シナリオを検討しています。今後、最新の台風情報及び気象台が発表する最新の防災気象情報(警報、注意報、気象情報)をご利用ください。

区分	境満潮時刻		田後満潮時刻		備考
17日	4:18	14:36	3:51	14:18	新月 16日
18日	4:50	15:15	4:23	14:58	
19日	5:19	15:53	4:55	15:36	

気象台提供資料

2 市町村・県民への注意喚起

(1) 市町村への注意喚起

■ 市町村における対応の徹底

台風第11号の接近を踏まえた対応

★ 予防対策の検討・実施

夜間に土砂災害警戒情報等が発表される恐れがある場合は、早めの避難準備情報・避難勧告・指示の発表と垂直避難等(家の2階以上や崖等の反対側への移動)の周知

※本年度導入した鳥取県気象予測システム等を活用

※タイムライン(防災行動計画)の活用

● 初動体制の速やかな確立

気象情報の収集伝達、職員参集体制の確認等

● 積極的な情報配信

防災行政無線、あんしんトリピーメール等の活用、報道機関への資料提供

● 迅速な避難体制の確立

避難勧告等発令基準や消防団等への連絡手段の確認等

● 避難行動要支援者等の支援対策の強化

該当施設等への情報伝達体制、避難誘導上の配慮等の確認等

● 被害規模の早期把握と迅速な報告

(2) 県民への注意喚起等

■ 市町村は防災行政無線等を活用、県はホームページ等を活用して県民に最大限の警戒をするよう注意喚起

- 気象注意報・警報・土砂災害警戒情報等の最新情報をTVやラジオ等 から入手するよう心がけること
- 家の周りを点検し、飛散する可能性のあるものを屋内に収納するか、固定すること
- 状況が悪化した場合は不要不急な外出は控えること
- 大雨の最中や直後には、増水した用水路や側溝等に近づかないこと
- 非常持出品の準備、避難経路、避難場所等の確認
- 避難準備情報が発出されたら避難行動要支援者等は避難行動を開始すること
- 避難勧告・指示が発出されたら、あわてず速やかに避難し、危険を感じたら早めに自主避難すること

とりネットへの掲載を予定



★ 夜間に災害警戒情報が発表されるおそれがある場合は、早めの避難や、避難することが危険と思われる場合は垂直避難等(家の2階以上や崖等の反対側への移動)による安全の確保

(2) 県民への注意喚起等

- ・なし・リンゴ・柿・ぶどう・もも等の風害対策、ビニールハウスの補強等強風対策の徹底
- ・農地・ため池の見巡り等は安全が確認された後に実施し、林業作業・施設工事等は無理に行わず、それぞれ人命最優先、2次被害防止を徹底
- ・漁業関係者の安全確保、漁船・漁具、漁港・海岸保全施設、漁業用施設等における防災措置の徹底
- ・県内河川及び湖沼の樋門操作の適切な対応
- ・工事看板、足場の固定
- ・建設資材等の保管(飛び散らない措置の確認)
- ・クレーン、杭打ち機等の転倒等の防止対策
- ・全国的に台風の影響が出るおそれがあるため、旅行等に出かける場合は気象情報や交通情報の入手に努めて適切な行動を
 - * 市町村教育委員会、各学校へ、通学時を含めた児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すことを伝達
 - * 観光客への適切な情報提供

3 警戒・即応体制の確保

(1) 県の体制

★台風第11号は鳥取県を通過することが見込まれることから、次のとおり体制を強化する。

◆注意体制

本県が強風域に入った場合等、必要に応じて注意体制に移行する。

* 本注意体制の具体的な対応については各部局等の計画による。

◆警戒体制 I

大雨注意報が発表された場合等に、警戒体制 I に移行する。

◆災害警戒本部：警戒体制 II

暴風域が本県を通過することが見込まれる場合、大雨警報等が発表された場合等に災害警戒本部(警戒体制 II)を設置する。

◆災害対策本部：非常体制 I・II (全職員)

被害甚大な場合、特別警報が発表された場合等に移行する。

* 非常体制 I でも、事務局応援職員を招集する場合あり

◆その他

* 台風説明会後に災害情報システム(事案名設定)を立ち上げ、県庁内、市町村等と、情報共有を開始した。(定時報告は、警報等が発表以降、別途通知することを基本とするが、警報等が発表されていない場合でも被害確認等、必要に応じて報告を求めることがある。)

(2) 各部局等の対応

■ 県民等への情報提供(危機管理局、関係部局等)

とりネット、あんしんトリピーメール、とりったー、Lアラート(公共情報
コモンズ)等により台風関連の情報を適時的確に県民等へ情報提供

■ 中国・四国各県及び関西広域連合との情報の共有と迅速 的確な支援

■ 各部局等

①水防関連

②農林・水産関連

③教育関連(学校、若鳥丸)

④交通関連(公共交通機関、アジアナ、DBS)

⑤福祉施設関連(高齢者施設等)

⑥警察関連(警察の体制等)

⑦イベント・観光関連(共通) など

県土整備部の対応

1 工事現場の資材管理等の徹底

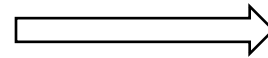
各県土整備事務所・局とも、工事現場での強風等による資材の飛散防止等を行うよう請負業者に指示・連絡し、対応を確認しているところ。

■工事現場での対応

- ・工事看板、足場の固定
- ・建設資材等の保管(飛び散らない措置の確認)
- ・現場内の土砂の流出の恐れなどがないか点検
- ・盛土、切土法面のシート養生等による崩壊防止対策実施
- ・クレーン、杭打ち機等の転倒等の防止対策実施 等

2 県内河川及び湖沼の適切な樋門操作の周知徹底

7月14日から17日が大潮の期間となる



	位置	月日	曜日	時間
満潮時間	境	7月17日	金	4:18
				14:36
	7月18日	土	4:50	
			15:15	
田後	7月17日	金	3:51	
			14:18	
	7月18日	土	4:23	
			14:58	

3 台風接近時の道路等パトロール体制

各所・局とも、台風接近に伴い状況変化(気象情報・県内での降雨状況等)に応じて管内をパトロールするよう、体制を整えている。また、水防体制については、同様に状況に応じた対応を行う。

4 (一社)鳥取県建設業協会と災害時応援協定に基づく対応について確認

災害発生時には、「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいて対応していただくよう、(一社)鳥取県建設業協会と事前に確認を行った。